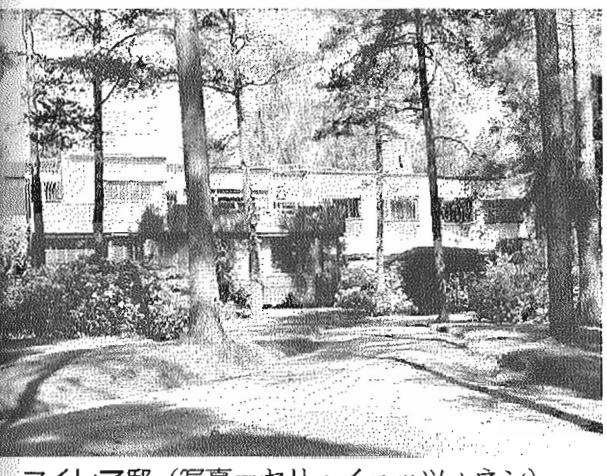


連載2回目



マイレア邸（写真＝ヤリ・イエツツオネン）



アルヴァー・アールト

優しき眼差しの建築家

梶原 知治氏

マイレア邸 愛情込めた作品

調和し、北欧らしい静
かな澄んだ詩情ざえた
計のアイデアと手腕を

肌で感じ吸収してみた
いもの。
同建物は、仕事の応
接も兼ねた住宅である
が、暖かい雰囲気の居
心地の良さをさりげな
く備えているアールト
にとっても愛情を込め
た特別な作品のようだ。

主な見どころとして、環
境共生の巧みな外構構
成、居間を中心として
設計のアイデアと手腕を
見せて貰えるそのたた
かに澄んだ詩情ざえた
計のアイデアと手腕を

自然採光、また和風イ
ンテリアの導入、レン
ガ下地の漆喰塗、木や
自然石の巧みな使用、
藤蔓巻きの鉄柱、大小
・長短・ランダムな丸
太の活用、工芸家とし
てのイスや照明器具の
デザイン等にも注目し
てみたい。

この建物は松林の丘
の頂部にあり、木々の
間から見えるそのたた
かには森と湖のフィ

マイレア邸は、形態
や材料から様々な手法
や夢想に至るまで彼の
まだ知らないこの機には

独特のやり方で、また
一挙に見せて貰えると
ても貴重な作品という
境内自らに展開する多

「アルヴァー・アーレ
ルトの住宅」鹿児島展
は、10月28日～11月10
日までの14日間、鹿児
島市立美術館で開催さ
れる。参加は無料。

国交省九州地方整備局
出前講座「いろいろな人
札・契約方式（電子入札
及び電子納品）」（県建設
業協会曾於支部主催、（株）
鹿児島建設新聞後援）は
10日、曾於郡大隅町の大
隅建設会館で開き、九地

整の講師が公共事業の現
状やCALS/ECCの必
要性について講義した。
出前講座には、建設業
協会曾於支部会員ら約1
30人が出席。初めに川
畠勇三支部長が「この苦
境を乗り切るために、
会員同士の結束はもとよ
り、新しい制度等への対

応も必要。本日の講義内
容を各社の事業に生かし
て頂きたい」と挨拶。
続いて、来賓の酒谷幸
彦九地整大隅工事事務所
長がコスト縮減、多様な
入札制度など国交省の新
たな取り組みを紹介しな
がら祝辞を寄せた。また、
中村隆次大隅土木事務所

代表取締役社長をはじめ
関係者が通り初めを行い
貫通点で固い握手を交わ
したほか、抱ぎ込まれた
樽みこしが通過点に置か
れると盛大に鏡開きが行
われ、貫通を祝した。

貫通式では、益満照美
県農政部農地建設課長、
田ノ上春雄県川内耕地事
務所長、井上章三鶴田町
長、東哲雄同町議會議長
が貫通発破を行い、貫通
スイッチを押し無事貫通
した後、森義久大隅森建設
代表取締役社長をはじめ
貫通点で固い握手を交わ
したほか、抱ぎ込まれた
樽みこしが通過点に置か
れると盛大に鏡開きが行
われ、貫通を祝した。

貫通式では、益満照美
県農政部農地建設課長が
「現在、広域農業団地農
道（総延長42km）の進捗
率は89%になる。今後も
無事故無災害で、完成の
日を迎えるよう祈念致します」と挨拶。続い
て、施工者を代表して山
下建設㈱の山下勇人代
表取締役副社長が「周り
の環境に十分配慮しながら、社員一同一丸となっ
て、無事故無災害で早期
の完成を目指します」と
言葉を寄せた。

直会では、発注者の県
を代表して益満課長が
「現在、広域農業団地農
道（総延長42km）の進捗
率は89%になる。今後も
無事故無災害で、完成の
日を迎えるよう祈念致します」と挨拶。続い
て、施工者を代表して山
下建設㈱の山下勇人代
表取締役副社長が「周り
の環境に十分配慮しながら、社員一同一丸となっ
て、無事故無災害で早期
の完成を目指します」と
言葉を寄せた。

同トンネルの延長は2
70m。工法はNATM
による発破工法。総事業
費は8億円。施工は山下
建設・森建設JVが担
当した。

贈呈式では、大迫尚
嗣同青年部会日置支
部担当で第18回青年
会長から米盛庄司県被
贈呈式では、大迫尚
嗣同青年部会日置支
部担当で第18回青年
会長から米盛庄司県被

米盛理事長にチャリ
ティー献金を手渡す大
迫部会長は「我々
が「出前講座は、弊社支
事務所の岩山順一工
事施工管理官が「多様な
入札・契約方式及びCA
LS/ECCの現状」と題
して講義した。岩山氏は、
発注者責任の具体的施策、
総合評価落札方式、公共
事業の情報化等を背景を
交えて解説。「今後、C
ALSは一企業の戦略と
なることを認識すべき」

CALSは企業の戦略

いろいろな入札・契約方式（電入札等）

国土交通省九州地方整備局 出前講座 研修会



多様な入札方式の解説があった講座

=大隅町の大隅建設会館で

九地整、大隅町で出前講座

長も「皆さんと一緒に勉強したい。実りある講座にしてほしい」と語った。この後、九地整鹿児島事務所の岩山順一工事施工管理官が「多様な入札・契約方式及びCALS/ECCの現状」と題して講義した。

最後に、宮之脇徹（㈱鹿児島建設新聞鹿屋支局長）が「出前講座は、弊社支局開局25周年記念事業の一環として開催させて頂きました。誠にありがとうございました」と謝辞を述べて閉会の言葉を述べた。

と結んだ。一環としても開催させて頂きました。誠にありがとうございました」とございました」と謝辞を述べて閉会の言葉を述べた。

青少年の健全な活動に

県建設業協同組合連合会青年部会（新谷清美部会長）は10日、鹿児島市の県建設センターで県交通被災者たすけあい協会へチャリティー募金の贈呈を行つた。

同会では先月、日置支部担当で第18回青年会長から米盛庄司県被贈呈式では、大迫尚嗣同青年部会日置支

川薩地区2号トンネル貫通式

トンネルの貫通を祝した貫通式
=鶴田町の川薩地区2号トンネル坑内

子地内の同トンネル坑内で行われ、行政関係者、施工業者ら約110人が出席して貫通を祝うと共に、今後の無事故での完

成を誓つた。

貫通式では、益満照美県農政部農地建設課長、田ノ上春雄県川内耕地事務所長、井上章三鶴田町長、東哲雄同町議會議長が貫通発破を行い、貫通スイッチを押し無事貫通した後、森義久大隅森建設代表取締役社長をはじめ貫通点で固い握手を交わしたほか、抱ぎ込まれた樽みこしが通過点に置かれて、無事故無災害で、完成の日を迎えるよう祈念致します」と挨拶。続いて、施工者を代表して山下建設㈱の山下勇人代表取締役副社長が「周りの環境に十分配慮しながら、社員一同一丸となつて、無事故無災害で早期の完成を目指します」と言葉を寄せた。

同トンネルの延長は270m。工法はNATMによる発破工法。総事業費は8億円。施工は山下建設・森建設JVが担当した。

贈呈式では、大迫尚嗣同青年部会日置支

無事故での完成祝う

と結んだ。一環としても開催させて頂きました。誠にありがとうございました」とございました」と謝辞を述べて閉会の言葉を述べた。

贈呈式では、大迫尚嗣同青年部会日置支

部チャリティーゴルフ大会を開き、チャリティーコード募金を行い、今回

災者たすけあい協会に贈ろうと同日の贈呈と並んで閉会の言葉を述べた。

でもお役にたてればと思います。青少年の健全な活動に使用していただきたい」と力強く語つた。

新エネルギー導入セミナー

県、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）九州支部は10日、鹿児島市の県市町村自治会館で14年度新エネルギー導入セミナーを開き、各官公署担当職員や事業者ら約100人が出席

ビジュヨン概要等学ぶ

して、地方自治体における新エネルギーの導入促進に向けた知識を深められた。

冒頭、宮野豊稔県企画部地域政策課資源対策監が「本県では3月に新エネルギー導入ビジュヨン等についての紹介等があつた。

策定した。地域特性を生かした導入促進を図つていただきたい」と挨拶。続いて、国の新エネルギー政策について説明があつた後、県が策定した新エネルギー導入ビジュヨンの概要についても概要版のパンフレットを基に説明。また、中種子町における新エネルギーの導入について事例報告が行われたほか、NEDOによる「地域における風力発電の進め方」の講演や新エネルギー導入支援制度についての紹介等があつた。

米盛理事長にチャリティー献金を手渡す大迫部会長は「我々が「出前講座は、弊社支

部チャリティーゴルフ大会を開き、チャリティーコード募金を行い、今回

災者たすけあい協会に贈ろうと同日の贈呈と並んで閉会の言葉を述べた。



地域特性を生かした導入促進を——と挨拶する宮野豊稔県資源対策監=鹿児島市の県市町村自治会館で

【訂正】10月10日号5面の新北部清掃工場設計業務の公募型指名競争入札に参加する者に必要な資格(3)ウで平成14年4月以降あるのは平成4年4月1日以後の調査